

Kyoto Sangyo University

Hiroto Nishikawa

① 準備から交流が始まるまでの出来事（参加理由・準備等）

私は、この授業を履修する前に台湾で英語を使ったプレゼンテーションを実施することをシラバスで知り、その中で他国の人と英語でコミュニケーションをとりながらプレゼンテーションを作る部分に非常に魅力を感じて参加を希望した。準備としてはまず、SDGsについて知ること、そして現在、世界中に残る課題は何かという部分を SDGs と関連付けて考えること、そして何よりも英語のスピーチングとリスニングの力を個人的に学習して身につけた。また、プレゼンテーションのスライドを作るのにどのような文字、図、色の配置が効果的かなど canva というアプリを使って実践できるように練習した。加えて台湾に訪問するので、飛行機のチケットやホテルを日本の学生たちと一緒に予約を取得した。この際にまずホテルは地下鉄の駅に近く、比較的明るい場所を選び、航空券は発表の 2 日前に台湾に到着するものを取り、現地で 2 日以上は交流、修正、練習できる日程になるように予定を組んだ。

② 交流中の出来事（国内交流・海外との交流に分けて困った点と良かった点、学び等）

実際にチームメンバーが決まり、交流する際に zoom アプリを使って英語で会話をするため、相手が何を英語で言っているかわからないときがあり、非常に困った。その際にはメッセージで文体として送ったり絵や図を見せたりして対応した。今回は「人権を考える」というテーマで障害をもつ方に私たちのチームは焦点をあてたが、障害の中にも精神、身体、発達など様々な方がいて、かつ年齢層も異なる中、どの層にターゲットを絞るかという点で私たちは苦戦した。また、お互いがインターネットで検索した調査結果を日本側と台湾側で比較したり、あるいは共通点を見つけたりすることに時間がかかった。一方で、私たちのチームの台湾側が問題を解決するためのアクションプランとして実際に障害を持つ方が働いている施設にインタビューをするという案は非常によかった。私たち日本側は大学の近くにある施設に実際にインタビューをしたり大学内に在学する身体に障害を持った方にお話をきいたりして、障害をもつ方について知らなかった知識を手に入れることができたという点、自分たちでインタビューのアポイントメントを電話でとり、日時決め、取材をしたという点においては貴重な経験ができ、成長したと感じた。また、良かった点としては、台湾側の生徒たちに何か質問や提案を LINE アプリで送ると丁寧にかつ確実に返信をしてくれて、お互い困ったことや意見があれば言うことができる雰囲気であったことである。夏にも別のプレゼンテーションの大会に参加したときは、意見や疑問があってあまり言わず、そのためテーマがずれたりお互いの齟齬が生じたりした。その反省として今回はできるだけ言い合える雰囲気にするために LINE アプリで「何かあればいつでも送ってください」というメッセージを送ったり、zoom の会議で優しい雰囲気を出したりした。ただ、私たち

のチームは、話は進むが、実際にプレゼンテーションのスライドを作るのが遅く、その点においては反省すべき点であると思う。

③ 台湾訪問・交流中の出来事（アカデミックな学び、異文化理解とコミュニケーション、社会的な学び等）

まず、台湾の学生たちは優しく、かなり私たち日本側の生徒たちに気を使ってくれた。台湾での有名な料理や観光場所、そして危険な場所など教えてくれた。また、台湾の先生や生徒が車で空港や学校、ホテルまで送迎してくれて非常によかった。台湾では、朝から夕方の5時や6時ごろまでは一緒にプレゼンテーションの練習や修正を行った。日本側も台湾側も互いにかなりの長時間であったので、正直、精神的にも体力的にも披露した。ただ、日本にいたときはzoomで何度か話していく打ち解けていたので休憩中に英語で日常会話や趣味、興味のあることなどについて英語で気軽に話せたので楽しかった。そしてプレゼンテーションの練習中にはお互いのパートを聞き、修正点や良かった点などをみんなで言い合う場を先生が作ってくれたのも非常によかった。私は台湾の生徒と出会って、練習と休憩の「メリハリ」がはっきりしていたところはモチベーションや作業の進度に関わってくるので大切であると思った。また、学びについては、台湾の生徒たちは英語が非常に流暢でレベルが高いというところに気がついた。また台湾の生徒のうち1人は日本語も自分で勉強していて、プレゼン本番前に「がんばって」と励ましてくれたことはうれしかった。さらに自分たちのプレゼンテーションが終わると質疑応答の時間があり、どのような内容の質問をされるか予期できない中、台湾の女子生徒が英語でつまらずに、かつ根拠をもった返答をしているのを見て非常に私の英語に対しての学習意欲はあがった。

④ 発表後の出来事（一連の交流を経て得た学びと今後への課題を学術的、社会的、異文化理解の観点で）

そしてプレゼンテーションが実際に終わると、台湾の生徒たちと街中を観光した。非常に人気な肉ラーメンを食べ、おいしいタピオカ屋に連れて行ってくれて、高雄の海沿いに行き、おしゃれな物販通りを歩いて、最後にしゃぶしゃぶを食べて台湾の食文化や街並みを経験することができた。また、私たちは金賞を受賞することができ、およそ3か月間かけて準備してきたことが実った瞬間はうれしく、感動した。今回のこの発表や交流などを通して私はまず、チームワークの大切さを学んだ。お互いに協力し合い、かつ意見や質問ははっきりと言うほうが作業の流れに関わってくるので必要であると感じた。また、プレゼンテーションを作る前にチームでどのような流れで作るのかを決めておくことが非常に大切であると学んだ。私たちのプレゼンテーションでは、完成した後に内容や流れを確認するとつながらなかったり、矛盾したりするところがあり、前日のリハーサルの直前までスライドの内容や順番を変えなければならなかった。そのことからまず作業をするまえに1か月ほどは筋の通った流れを最初に作るべきだと思った。最後に交流の際にはやはり英語が必要であるので日常会話の単語をまずは話せるようになり、かつ「私は○○だと思う」という意見を言える英語力と積極さ、そして「○○してくれないか」という依頼はできるようになっておくべ

きだと思った。

① 從準備到交流開始的活動（參加理由、準備等）

在上這門課之前，我從課程大綱中得知，在台灣，演講是用英語進行的，課程中我用英語與其他國家的人交流時創作演講的部分非常吸引我。參加。為了做好準備，首先要了解 SDGs，思考當今世界與 SDGs 相關的問題，最重要的是，個人學習和掌握英語口語和聽力技能。我們還使用了一個名為 canva 的應用程式來練習在建立簡報投影片時如何有效地排列文字、圖形和顏色。另外，由於我要去台灣，所以我和日本學生一起訂了機票和飯店。首先，選擇一個靠近地鐵站且光線相對充足的酒店，在公告發布前兩天拿到一張抵達台灣的機票，並規劃一個至少可以互動、修改和練習的時間表現場兩天，我是這樣制定計劃的。

② 交流期間的事件（國內外交流中的困難與優點、學習內容等）

團隊成員確定後，我們就必須用 Zoom 應用程式用英語交流，所以有時我聽不懂對方用英語說的話，這很麻煩。在這種情況下，我會透過發送簡訊並展示圖片和圖表來回應。這次，我們團隊以「思考人權」為主題，以殘疾人為主題，但由於殘疾人有心理、身體、發展等各種障礙，而且年齡層不同，所以我們很難抉擇。目標人群。此外，日本和台灣雙方也需要時間來比較網路搜尋結果並找到共同點。另一方面，我們非常喜歡這樣的想法：我們的台灣團隊將採訪殘疾人實際工作的設施，作為解決問題的行動計劃。我們日本實際上是在大學附近的設施裡進行了採訪，與在校就讀的身體殘疾人士進行了交談，獲得了我們以前不知道的殘疾人士的知識。從我們能夠進入的意義上來說，我們通過電話預約了面試，確定了日期和時間，並親自進行了面試，我們獲得了寶貴的經驗，感覺自己成長了。還有一個好處是，當我在 LINE 應用程式上向台灣學生發送問題或建議時，他們都會禮貌而可靠地回復，我們都可以表達我們的任何問題或意見，這就是氣氛。暑假參加另一場演講比賽時，即使有意見或問題，也沒有多說，結果話題轉移，發生衝突。考慮到這一點，這次我試圖營造一種我們可以盡可能多地討論問題的氛圍，透過在 LINE 應用程式上發送一條訊息說：“如果您有什麼話要說，請隨時發送至我，”並在 Zoom 會議期間營造友好的氛圍。然而，我們的團隊在實際創建簡報投影片方面進展緩慢，我認為這是我們應該反思的事情。

③ 來台訪問/交流期間的活動（學術學習、跨文化理解與交流、社會學習等）

首先，台灣學生對我們日本學生很友善、體貼。

塔。他跟我講了台灣的名菜、景點、險地。台灣老師和學生開車送我們去機場、學校和飯店也很好。在台灣，我們從早上一起練習、修改演講，一直到晚上五、六點左右。說實話，日本隊和台灣隊都比賽了相當長的時間，說實話，他們的精神和體力都表現得很出色。不過，我在日本的時候，我們透過 Zoom 聊過幾次，也認識了彼此，所以在休息的時候，我們可以用英語隨意談論日常對話、愛好和我們感興趣的事情，所以很有趣。非常好的一點是，在演講

練習的過程中，老師為大家創造了一個機會，讓大家互相聽對方的部分，並討論糾正和好的地方。當我遇到台灣學生時，我意識到練習和休息之間有一個清晰的「對比」很重要，因為這關係到動機和工作進度。在學習方面，我注意到台灣學生的英語非常流利，程度很高。其中一位台灣學生也在自學日語，我很高興他在實際演講之前鼓勵我「盡力而為」。而且，在演講結束後，還有問答環節，雖然無法預料會被問到什麼樣的問題，但台灣女學生卻用英語簡單而接地氣地回答，看到這裡，確實增加了很多。我學習英語的願望。

④ 演講結束後的活動（透過一系列交流所獲得的知識以及從學術、社會和跨文化理解的角度未來的挑戰）

演講結束後，我和台灣學生一起遊覽了這座城市。吃著很受歡迎的肉拉麵，帶我去好吃的木薯店，去高雄的海邊，沿著時尚的購物街走一走，最後吃涮鍋體驗台灣的飲食文化和街景就完成了。我們也能夠獲得金獎，當我們意識到三個多月的準備得到了回報時，我們既高興又感動。透過這次演講和互動，我第一次了解到團隊合作的重要性。我覺得有必要互相配合，清楚表達意見和問題，因為這會影響工作的流程。我還了解到，團隊在創建簡報之前決定簡報的流程非常重要。當我們完成簡報後檢查內容和流程時，發現有些部分沒有聯繫或不一致，所以我們必須更改投影片的內容和順序，直到前一天排練前。正因為如此，我想我應該在開始工作之前先創建一個大約一個月的連貫流程。最後，英語是互動所必需的，所以首先你需要會說日常會話中使用的單詞，並且還要有英語能力和主動性說“I think XX”和“I think XX”。應該可以提出這樣的請求：“你能幫我嗎？”



Kyoto Sangyo University
Kukai Minami

① 準備から交流が始まるまでの出来事（参加理由・準備等）

私が今回 ASEPへの参加を決断した大きな要因として ASEPのような大きな規模の大会への参加が初めてであったことや昨年夏頃に行われた WYM にて培った経験を形にしたいという思いがありました。

今回 ASEPに向けての準備に要した期間はおよそ3ヶ月間ほどでしたが、時間はあっという間に過ぎて行きました。我々日本チームと台湾チームとでは時差にほとんど影響がなかったため、ZOOMなどのサービスを通して毎週発表への打ち合わせを重ねました。

② 交流中の出来事（国内交流・海外との交流に分けて困った点と良かった点、学び等）

私たちのグループは少し特殊な発表形式で今大会に挑んだのですが、それ故に発表で使用する資料の制作が今回の活動では難点であったように感じます。

資料を製作するにあたり ZOOMなどのオンラインサービスを使用しましたが、対面でない状態ではお互いの意図を伝え合うことが困難な瞬間もありました。しかしそれらの難点も、工夫し解決策を講じるといった時間や毎週行っていたオンラインミーティングそのものによって我々の団結力を高める要因になっていきました。

③ 台湾訪問・交流中の出来事（アカデミックな学び、異文化理解とコミュニケーション、社会的な学び等）

台湾に到着してからは基本的に台湾チームの学生と行動を共にしていました。その中で沢山の事を教えて貰いましたが、特に私が感銘を受けた点があります。それは台湾の学生は何か問題を発見するとすぐにチームメンバーとディスカッションをし、即座に解決策を見出していたという点です。私は彼らの行動力やそのスピードにとても感心を受けました。

また今回私たち日本チームはコラボした台湾チームの大学の施設を利用し最終打ち合わせなどを行いましたが、滞在した大学また発表当日に会場となった高校などを含め台湾の学校には生徒が自由に集まりディスカッションを設けるスペースが至るところにありました。そういう環境が多く整えられていることから彼らの問題への適応能力が培われていったのだろうと私は感じています。

④ 発表後の出来事（一連の交流を経て得た学びと今後への課題を学術的、社会的、異文化理解の観点で）

今回 ASEP への参加を経て私が感じた学びと今後の課題は発表時間の均等化、またシミュレーションの重要性です。

今回我々のチームの発表に際し懸念点はあまりなかったのですが、ひとつ改善すべき点があるとすればそれぞれの発表時間の均等生にはばらつきがありました。ここを上手くより均等生をもたらせることができればチームメンバーの労力に差が出ることを少なくできただろうと感じています。

またシミュレーションの重要性についてですが、我々のチームは発表資料の完成当初、制限時間を越えていたため何度も発表原稿を添削し、それぞれの担当するパートに要する時間を計測しながら調整を重ねてゆきました。そうして迎えたリハーサルの時でさえもメンバーそれが緊張を抱え練習通りにはゆきませんでした。そこから何度も再調整を重ね、練習を繰り返すことで本番の発表では想定通りの時間での終了に成功しパフォーマンスも上手く行うことができました。

やはりもう大丈夫、本番でのミスもあり得ないだろうというところまで来てもシミュレーションや練習は止めてはいけないと私は改めて学ぶことができました。

① 從準備到交流開始的活動（參加理由、準備等）

這次我決定參加 ASEP 的主要原因是，這是我第一次參加 ASEP 這樣的大型比賽，我想把去年夏天左右舉辦的 WYM 所獲得的經驗，成形了。

ASEP 的準備時間大約是三個月，但時間一眨眼就過去了。由於我們日本團隊和台灣團隊之間的時差影響不大，我們透過 ZOOM 等服務每週舉行演示會議。

② 交流期間的事件（國內外交流中的困難與優點、學習內容等）

我們組以一種比較獨特的演示形式迎接了這次比賽的挑戰，正因為如此，我覺得製作演示中使用的材料是本次活動的一個難點。

雖然我們使用 ZOOM 等線上服務來製作素材，但有時如果不面對面，很難傳達我們的意圖。然而，這些困難透過我們花時間設計和尋找解決方案以及透過我們每週舉行的線上會議，成為加強我們團結的因素。

③ 來台訪問/交流期間的活動（學術學習、跨文化理解與交流、社會學習等）

到了台灣之後，我基本上都是跟台灣隊的同學一起工作。那段時間我學到了很多東西，但有一件事情讓我印象特別深刻。重點是，當台灣學生發現問題時，他們立即與團隊成員討論，

並立即找到解決方案。他們的精力和速度給我留下了深刻的印象。

另外，這次我們的日本隊使用了我們合作的台灣隊的大學設施進行最後的會議，但是學生們可以自由參觀台灣的學校，包括我們住的大學和舉辦演講的高中。到處都有聚集和討論的空間。我覺得適應問題的能力是培養出來的，因為他們有很多這樣的環境。

④ 演講結束後的活動（透過一系列交流所獲得的知識以及從學術、社會和跨文化理解的角度未來的挑戰）

我從參加 ASEP 中學到的東西以及我今後需要解決的問題是平衡演示時間和模擬的重要性。這次我們團隊的演講並沒有太多的顧慮，但如果說有什麼可以改進的話，那就是每次演講的時間分配上都有差異。我覺得，如果我們能在這方面做得更好，創造出更平等的生活，我們就能夠減少團隊成員之間的努力差距。

關於模擬的重要性，我們團隊第一次完成演示材料時，超出了時間限制，所以我們多次修改演示稿件，一邊衡量每個部分所需的時間一邊進行調整，我去了。即使在排練時，每個成員也都很緊張，沒有按計劃進行。從那時起，我多次重新調整和練習，都能在預期的時間內完成實際的演示，並且表現良好。

我再次意識到，即使你已經到了你認為可以的地步，並且在實際事件中你不可能犯錯誤，你也不應該停止進行模擬和練習。

Kyoto Sangyo University

Sena Nomura

① 準備から交流が始まるまでの出来事（参加理由・準備等）

参加した理由は、SDGs に興味がありこのセミナーを通して台湾に行く機会があったので参加しました。7月にも日本で、カンボジアの人と交流してスライドを作り発表をする機会がありました。その時と同じで、やはりオンラインを通してのコミュニケーションや、そこから更に一緒にプレゼンテーションをしないといけないと言うところがとても困難でした。特に、ネット環境が悪くてお互いに伝えられない事が多々ありました。また、時差やお互いの育った環境や文化の違いで大変だと感じることが多くありました。限られた時間の中で作り上げないといけないという制限があるため、チームメイトの国に妥協しないといけない場面も沢山ありました。そんな時は、違うアプリを通してや、SNS を通してコミュニケーションを取ったりして工夫していました。

② 交流中の出来事（国内交流・海外との交流に分けて困った点と良かった点、学び等）

正直に言うと、台湾に行く前まではやる気はありませんでした。なぜ、海外に行ってまでプレゼンテーションをしないと行けないのかと。それもまた、私が台湾に興味が無かったのもあります。しかし行ってみると、チームメイトが私たち日本のメンバーを暖かく迎えてくれて、感動し、刺激を受ける毎日でした。例えば、空港から私たちのホテルまでの行き方、1週間の天気など相手には関係の無いことまで全てを自分たちで調べてくれていました。また、私たちが台湾にいる間は、毎日プレゼンテーション以外でも遊びに行ったりもしました。それも、台湾の皆は全員ボランティアとして自らの意思で参加しているのです。また、SNS の使い方についても違う部分を改めて学びました。例えば、日本人の多くは SNS の投稿やプロフィールの写真で顔を隠したがりますが、彼らはみんなで撮った自撮りとともに、一日の出来事を長く綴った毎日日記を投稿している人もいました。私は元々顔を隠したりせず、堂々と顔を出して投稿したりするタイプなのですが、彼らの影響を受けて今まであまり投稿に文を書いたりしていませんでしたが、台湾であった出来事や、みんなで撮った自撮りなどを投稿するようになりました。彼らは頭が良いだけではなく、内面まですごく明るくてフレッシュで彼らとずっといるととてもいい気が貰えるだろうなと感じたので、台湾を旅立つ日は悲しかったです。しかし、そんな素晴らしい彼らと白金賞を取れたことは私の一生の思い出になりました。台湾のチームにリーダーをしていた 18 歳の女の子がいました。そのことは私が聞くまで知らなかったのですが、いつも周りを見渡していて、例えば台湾の子達だけで中国語で話していて何を話しているのか分からず、置いていかれないとそれを察して完璧な英語ではなくとも何を話しているのか翻訳して伝えようしてくれていたり、私がぽつんとしていると「こっちにおいで」と手を差し伸べてくれたりとても優しく、強い女の子でした。その女の子と 2 人で授賞式の結果を待っている間、私はその子に尋ねました。「なんでそんなに皆のことをまとめられるの？」と。その時に私はその女の子がリ

ーダーだということを教えてくれたのですが、そのためそ「責任感があるから」と言っていました。私は、今まであまりそういった責任感を持って生きたことがなかったのでまたその時感動しました。また、その女の子とは話している時にはあまり感じなかつたのですが日本に帰ってからもインスタグラムでやり取りしているのですが、DMで「台湾の事が寂しくなつたら私が毎日投稿しているから見てね」と言ってくれました。その女の子のインスタグラムの投稿の文章にも何度も感動し、母にも見せていましたがとても長文で書いていることもしっかりしていました。また、それに台湾の友達がコメントしていることも日本とは違いを感じとても暖かかったです。このように台湾にいる間は22時ぐらいまでみんなで遊んでいる日もありました。彼らはいつもからこんなに夜ご飯を食べに行くぐらい仲が良いのだろうかと感じさせられました。また、台湾についてからは毎日イージーカードというのを用いて自転車に乗り学校に行ったり街を散歩していました。あまり自転車が好きでは無い私でもその自転車は電動式なのかとてもスイスイ進んで楽しかったです。私たちが帰国する日は一緒に朝ごはんを食べに行き、駅まで見送ってくれて沢山のお土産までくれて本当に楽しかったです。また必ず今年は台湾に行けたらいいなと思います。

③ 台湾訪問・交流中の出来事（アカデミックな学び、異文化理解とコミュニケーション、社会的な学び等）

これは、もちろん人によるとは思いますがやはり全体的にSNSの使い方が違うということです。②にも書いた通り、日本人は何もかも「映え」を意識したいわゆる「見た目」に囚われすぎていて、中身を磨こうとする人が少なく感じます。今思い返してみると、台湾に行った時は映えを意識したスイーツはあまり見なかつた気がします。食を好む日本人の文化は良いとは思いますが、「流行り」に乗ろうとしすぎて皆が同じような見た目や思考に陥ってしまう傾向にある日本は悲しいなと昔からつくづく思います。

英語でのコミュニケーションはたまに発音の違いや単語が出てこなかつたり伝えたいことが上手く伝わらなかつたりすることがたまにありましたが、そこまで問題はなかつたと思います。それより、やはり台湾の子達の方が人数が多いのもあり、多々中国語でずっと会話していて置いていかれるという場面があったのは悲しかつたです。

④ 発表後の出来事（一連の交流を経て得た学びと今後への課題を学術的、社会的、異文化理解の観点で）

今までこういった大会にあまり出たことが無いのもありますが、このように賞を授賞できることもとでも私の中で貴重な経験となりました。また、これからプレゼンテーションをする時への自信にも繋がりましたし、また世界的な問題を英語でより多くの人に伝えられたというのもとても嬉しかつたです。

① 從準備到交流開始的活動（參加理由、準備等）

我參加是因為我對 SDGs 感興趣，並且透過這個研討會有機會去台灣。7月，我有機會在日本與柬埔寨人民互動、製作幻燈片和演講。就像當時一樣，網路溝通非常困難，然後還要一起做演講。特別是由於網路環境不好，我們之間有很多事情無法溝通。另外，由於時差以及成長環境和文化的差異，很多時候我感到很困難。因為我們必須在有限的時間內創造一些東西，所以很多情況下我們必須與隊友的國家妥協。有時候，我會嘗試透過不同的應用程式或 SNS 進行交流。

② 交流期間的事件（國內外交流中的困難與優點、學習內容等）

說實話，去台灣之前，我並沒有什麼動力。為什麼我必須出國演講？那也是因為我對台灣沒興趣。然而，當我去那裡時，我的隊友們熱情地歡迎我們日本成員，我每天都受到感動和啟發。例如，一切都是他們自己研究的，包括如何從機場到我們飯店，本週的天氣，以及其他與對方無關的事情。還有，我們在台灣的時候，除了演講之外，每天都出去玩。而且，台灣每個人都是自願以志工身分參與的。我還學到了一些關於如何使用 SNS 的不同知識。例如，許多日本人喜歡在 SNS 帖子和個人資料照片中隱藏自己的臉，但他們中的一些人也發布長篇日記，記錄當天的活動以及一起自拍。我當時也在場。我是那種不遮臉、公開貼文的人，但是因為他們的影響，我到現在發文不多，但是在台灣我寫的不多。我開始發這樣的東西：發生在我身上的事情以及我和大家一起拍的自拍照。離開台灣的那天我很難過，因為他們不只聰明，內心也很明亮、清新，我覺得和他們在一起會有一種很好的感覺。然而，能夠和如此優秀的人一起贏得白金獎，已經成為一生難忘的回憶。有一位 18 歲的女孩，是台灣隊的領隊。我問了之後才知道，但我總是環顧四周，當我看到台灣孩子獨自用中文說話，而我聽不懂他們在說什麼，只剩下我一個人時，我請注意，她是一個非常善良和堅強的女孩，即使她的英語不完美，她也會理解我在說什麼，並嘗試翻譯我在說什麼，當我獨自一人時，她會伸出手說：“來吧”在這裡。」是。在等待頒獎典禮結果的時候，我問了那個女孩。“你怎麼可以這樣概括大家的事情？”當時那個女孩告訴我，她是個領導者，所以她說是因為她有責任感。我從來沒有以這樣的責任感過活過，所以當時我很感動。另外，我和那個女孩說話的時候並沒有什麼感覺，但即使我回到日本之後，我們也一直在 Instagram 上交流，她給我發了一條 DM 說：「如果你感到孤獨台灣，我每天都會發一些東西。」“我在這裡，請你看看。”我多次被這個女孩的 Instagram 貼文的寫作所感動，我把它們拿給我媽媽看，它們很長，寫得很好。另外，台灣朋友的評價也讓我覺得很溫暖，跟日本的朋友不一樣。我們在台灣的時候，有時候我們都會一起出去玩到晚上 10 點左右。這讓我想知道他們是否總是如此親密以至於經常出去吃飯。另外，到了台灣後，我每天都用悠遊卡騎腳踏車上學、逛街。儘管我不太喜歡自行車，但自行車是電動的，所以行駛起來非常平穩而且很有趣。出發那天，我們一起去吃早餐，到車站送行，還送了我們很多紀念品，真是太開心了。我當然希望今年能再去台灣。

③ 來台訪問/交流期間的活動（學術學習、跨文化理解與交流、社會學習等）

當然，這因人而異，但這意味著人們使用 SNS 的方式總體上是不同的。正如我在②中提到的，我覺得日本人太執著於所謂的“外表”，一切都注重“好看”，很少有人努力改善自己的內在外表。現在回想起來，我去台灣的時候，好像沒看到多少設計好看的甜點。我認為日本熱愛美食的文化是好的，但我一直認為日本過於努力追隨「潮流」而導致每個人都以同樣的方式看待和思考，這是可悲的。

在用英語溝通的時候，我有時會遇到發音問題，單字說不出來，或者我想表達的東西沒有很好地表達出來，但我不認為有什麼大問題。更重要的是，那裡有很多台灣孩子，所以有時用中文交談後只剩下我一個人，這讓我感到很難過。

④ 演講結束後的活動（透過一系列交流所獲得的知識以及從學術、社會和跨文化理解的角度未來的挑戰）

我以前沒有參加過很多這樣的比賽，但能夠獲得這個獎項對我來說是一次寶貴的經驗。這也

讓我對以後的演講充滿了信心，我很高興能夠用英語向更多的人傳達全球問題。



Kyoto Sangyo University

Honoka Oda

① 準備から交流が始まるまでの出来事（参加理由・準備等）

交流する前に、夏に行ったプレゼンの改善点や良かったチームをもう一度見て比較をしました。日本側は、2チームに分かれて私たちのチームは事前にどのようなテーマでいこうか話し合いをし交流に挑みました。

② 交流中の出来事（国内交流・海外との交流に分けて困った点と良かった点、学び等）

テーマを決める段階で、どのテーマで発表するべきなのか迷いましたが台湾の先生が提案してくださいました障害を持つ人の支援をテーマに進めていきました。実際に働いている方達のところへ訪問したり、学生にインタビューを取りました。どの方達も共通しているのが、なにをしたらいいのか聞いてほしいでした。実際に私も何度も障がい者がいる場面に出くわした経験がありました。ですが、なにをしたらいいのか分からず声をかけるのを諦めたことがあります。聞いていいんだと新たな学びになりました。台湾側がどこにアンケートを取っているのか、だったり、その内容が把握できなかった点では困りました。

③ 台湾訪問・交流中の出来事（アカデミックな学び、異文化理解とコミュニケーション、社会的な学び等）

二日間台湾の大学にお邪魔した際に、感じたのは学ぶ意欲の高さです。誰一人ネガティブなことを言わず励まし合っていて自分もさらに頑張ろうと思えました。また、台湾の大学には他の国からの入学生が多く感じました。私は、英語力が低く聞き取れているのになんて話したらいいのか分からずはじめは、緊張ばかりしていました。ですが、ゆっくり話しかけてくれたり思いやりのある人たちでとてもうれしかったです。台湾の火鍋の食べ方や地下鉄のマナーなど多くのことを教えてもらいました。最終日に空港にいくまでの間、1人の子がカフェに連れてってもらいました。その際に友達になれて良かったと言ってくれて台湾にきて良かったと改めて強く感じました。

④ 発表後の出来事（一連の交流を経て得た学びと今後への課題を学術的、社会的、異文化理解の観点で）

今回日本側でインタビューを行って感じた課題は2つあります。1つ目は、障がい者に対する気遣い方です。自分たちは、過剰な気遣い方をしていると感じました。聞かずに手助けをしたり、頼まれてもいないのにやってみせたりこれらは障がいの方たちにとっては有難迷惑になりかねないと感じました。障がい者の思っていることをもっと世間に拡散され認知してもらう必要があると強く感じました。2つ目は支援の柔軟性です。障がい者手帳をなんらかの理由でもっていない人たちが存在するなかで持っている人に対する支援は数多く

あっても持っていない人に対する支援は少ないと感じました。自治体や民間がもっていない人たちを支援したり政府がもっと柔軟性を持ち合わせた支援方法を考えるべきなのはと思いました。

① 從準備到交流開始的活動（參加理由、準備等）

在我們開始互動之前，我們重新審視並比較了我們在夏天所做的演示的改進以及表現良好的團隊。日方這邊，我們分成了兩個小組，我們小組提前討論要討論什麼主題，並嘗試互相互動。

② 交流期間的事件（國內外交流中的困難與優點、學習內容等）

在確定主題的階段，我很困惑應該呈現哪個主題，但我決定選擇台灣老師建議的支持殘疾人的主題。我拜訪了在那裡實際工作的人並採訪了學生。他們所有人的共同點是他們都希望被問到他們應該做什麼。曾是。事實上，我有過好幾次遇到身心障礙者的經驗。然而，有時我不知道該怎麼辦，就放棄了呼喚他們。我學到了一些新東西，就是傾聽是可以的。我們很苦惱的是，我們不明白桌上在哪裡收集問卷，也不知道問卷的內容。

③ 來台訪問/交流期間的活動（學術學習、跨文化理解與交流、社會學習等）

當我參觀台灣的一所大學兩天時，我感受到的是高度的學習慾望。沒有人說任何負面的話，我們互相鼓勵，這讓我想更努力工作。我也感覺到有很多其他國家的學生進入台灣的大學。起初，我很緊張，因為我不知道該說什麼，儘管我的英語能力很低，但我能很好地理解。不過，我很高興看到那些跟我說話緩慢、體貼的人。我學到了很多東西，像是如何吃台灣火鍋、地鐵禮儀等。最後一天，一個孩子在去機場之前被帶到了一家咖啡館。當時他告訴我，很高興我們能成為朋友，這讓我再次意識到自己來到台灣是多麼高興。

④ 演講結束後發生的事情（從學術、社會、跨文化理解的角度透過一系列交流所獲得的經驗和未來的挑戰）

這次在日方進行訪談時，我感受到了兩個問題。首先是我們如何關心身心障礙者。我覺得我們太體貼了。我認為在沒有詢問的情況下提供幫助或在沒有詢問的情況下做某事可能會給殘疾人帶來麻煩。我強烈感受到殘疾人的思想需要更廣泛的傳播和社會的認可。二是支援的靈活性。有很多人因為某些原因沒有殘疾證明，我覺得雖然對那些有殘疾證明的人有很多支持，但對那些沒有殘疾證明的人卻很少支持。我認為地方政府和私營部門應該支持那些沒有太多東西的人，政府應該考慮如何提供更靈活的支持。